

実 技 試 験

☆☆☆解答に当たっての注意事項☆☆☆

- ・ 試験問題については、特に指示のない限り、2022年10月1日現在施行の法令等に基づいて解答してください。なお、東日本大震災の被災者等に対する各種特例等については考慮しないものとします。
- ・ 次の各問について答えを1つ選び、その番号を解答用紙にマークしてください。

【第1問】下記の（問1）、（問2）について解答しなさい。

問1

ファイナンシャル・プランニング業務を行うに当たっては、関連業法を順守することが重要である。ファイナンシャル・プランナー（以下「FP」という）の行為に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 弁護士資格を有していないFPが、離婚後の生活設計について相談された顧客の依頼により、その顧客の代理人として相手方との離婚時の財産分与について話し合いを行い、報酬を得た。
2. 社会保険労務士資格を有していないFPが、顧客の「ねんきん定期便」等の資料を参考に、公的年金を繰下げ受給した場合の見込み額を試算した。
3. 税理士資格を有していないFPが、参加費有料のセミナーにおいて、仮定の事例に基づき、一般的な税額計算の手順を解説した。

問2

下記は、平尾家のキャッシュフロー表（一部抜粋）である。このキャッシュフロー表の空欄（ア）、（イ）にあてはまる数値の組み合わせとして、正しいものはどれか。なお、計算過程においては端数処理をせず計算し、計算結果については万円未満を四捨五入すること。

<平尾家のキャッシュフロー表>

(単位：万円)

経過年数		基準年	1年	2年	3年	4年	
西暦(年)		2022	2023	2024	2025	2026	
家族・ 年齢	平尾 保孝	本人	52歳	53歳	54歳	55歳	56歳
	菜々	妻	51歳	52歳	53歳	54歳	55歳
	美優	長女	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳
ライフイベント		変動率		美優 大学入学			住宅ローン の繰上げ 返済
収入	給与収入(本人)	1%	473	478			
	給与収入(妻)	1%	511				(ア)
	収入合計	—	984	994	1,004	1,013	
支出	基本生活費	2%	402	410			
	住宅関連費	—	186	186	186	186	
	教育費	—	165	200	130	130	100
	保険料	—	62	62	62	62	62
	一時的支出	—					400
	その他支出	—	50	50	50	50	50
	支出合計	—	865	908		855	1,233
年間収支			119	86		158	
金融資産残高		1%	702	(イ)			

※年齢および金融資産残高は各年12月31日現在のものとし、2022年を基準年とする。

※給与収入は可処分所得で記載している。

※記載されている数値は正しいものとする。

※問題作成の都合上、一部を空欄にしてある。

1. (ア) 531 (イ) 788
2. (ア) 532 (イ) 796
3. (ア) 532 (イ) 795

【第2問】下記の（問3）～（問5）について解答しなさい。

問3

下記<資料>の投資信託を50万口購入する場合の購入金額として、正しいものはどれか。なお、解答に当たっては、円未満を切り捨てること。

<資料>

約定日の基準価額（1万口当たり）	19,855円
購入時手数料（税込み）	2.20%
運用管理費用（信託報酬・税込み）	年0.66%

1. 999,302円
2. 1,014,590円
3. 1,021,142円

問4

F Pの井上さんが行った単利と複利に関する次の説明の空欄（ア）、（イ）にあてはまる語句の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。なお、問題作成の都合上、一部を空欄（***）としている。

単利とは、当初の元金に対してのみ利息を計算する方式のことで、算出式は「***」です。一方、複利とは一定期間ごとに支払われる利息を元本に含めて、これを新しい元金として利息を計算する方式のことをいいます。再投資される期間によって、1ヵ月複利、半年複利、1年複利という種類があり、利率や期間など他の条件が同じであれば、利息の再投資期間が（ア）方が満期時の元利合計は多くなります。1年複利の元利合計額（税引前）の算出式は「（イ）」です。

1. （ア）長い （イ）元利合計額（税引前）＝元本×（1＋利率）×預入年数
2. （ア）短い （イ）元利合計額（税引前）＝元本×（1＋利率）^{預入年数}
3. （ア）短い （イ）元利合計額（税引前）＝元本×（1＋利率×預入年数）

問5

下記<資料>に基づくTX株式会社の投資指標に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。
 なお、購入時の手数料および税金は考慮しないこととする。

<資料>

[株式市場に関するデータ]

◇投資指標	〔 P E R と配当利回りの太字は予想、カッコ内は 前期基準、 P B R は四半期末基準、連結ベース 〕			
	PER	PBR	配当利回り (%)	
	(倍)	(倍)	単純平均	加重平均
日経平均採用銘柄	12.85 (13.12)	1.16	2.44 (2.45)	
J P X日経400採用銘柄	13.82 (14.20)	1.32	2.14 (2.18)	2.43 (2.39)
東証プライム全銘柄	13.61 (13.99)	1.16	2.35 (2.34)	2.51 (2.45)
東証スタンダード全銘柄	15.43 (16.30)	0.89	2.15 (2.35)	1.93 (2.62)
東証グロース全銘柄	110.77 (306.62)	3.46	0.33 (0.29)	0.21 (0.19)
株式益回り (東証プライム全銘柄)			予想	7.34%
			前期基準	7.14%

(出所：日本経済新聞 2022年5月21日朝刊 18面)

[TX株式会社に関するデータ]

株価	1,900円
1株当たり純利益 (今期予想)	137円
1株当たり純資産	1,070円
1株当たり年間配当金 (今期予想)	65円

1. 株価収益率 (P E R) で比較した場合、TX株式会社の株価は日経平均採用銘柄の平均 (予想ベース) より割安である。
2. 株価純資産倍率 (P B R) で比較した場合、TX株式会社の株価は東証プライム全銘柄の平均より割安である。
3. 配当利回り (単純平均) で比較した場合、TX株式会社の配当利回りは東証グロース全銘柄の平均 (予想ベース) より高い。

【第3問】下記の（問6）～（問8）について解答しなさい。

問6

借地借家法に基づく普通借家権に関する以下の記述の空欄（ア）～（ウ）に入る語句の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。

存続期間	
期間の定めがある場合	契約で期間を定める場合、（ア）以上とする。（ア）未満の期間を定めた場合、期間の定めがないものとみなされる。
期間の定めがない場合	随時解約の申し入れをすることが可能である。 ・ 貸貸人からの解約の申し入れ 申し入れの日から（イ）経過したときに契約は終了する。ただし、貸貸人からの解約の申し入れには正当事由を要する。 ・ 賃借人からの解約の申し入れ 申し入れの日から（ウ）経過したときに契約は終了する。

1. （ア）1年 （イ）3ヵ月 （ウ）1ヵ月
2. （ア）1年 （イ）6ヵ月 （ウ）3ヵ月
3. （ア）2年 （イ）6ヵ月 （ウ）3ヵ月

問7

建築基準法の用途制限に従い、下表の空欄（ア）、（イ）にあてはまる建築可能な建築物の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。なお、記載のない条件については一切考慮しないこととする。

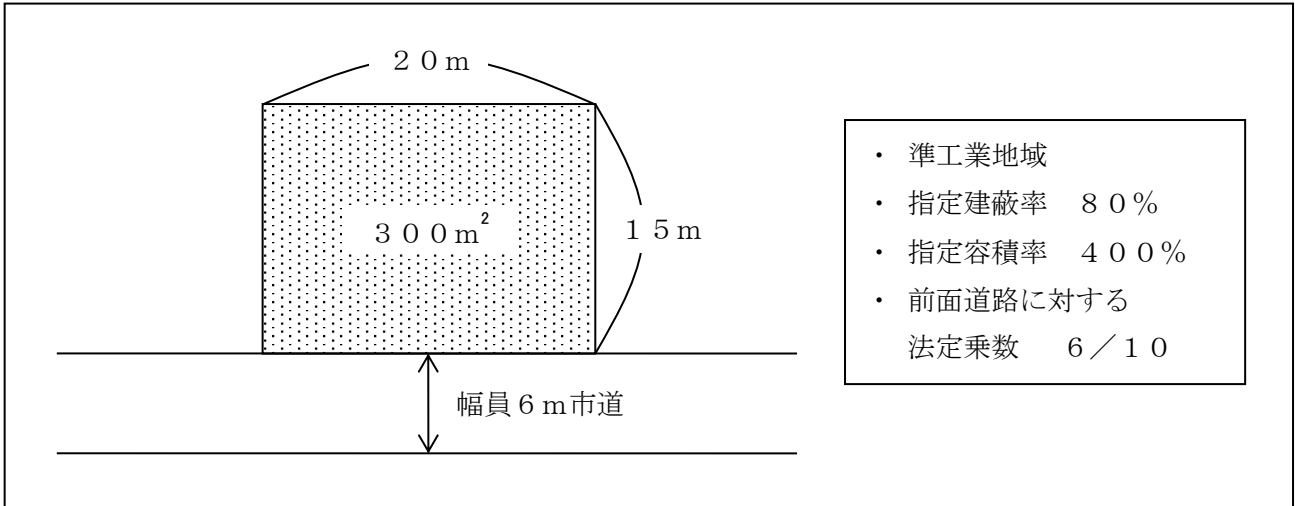
用途地域	建築物の種類
第一種低層住居専用地域	（ア）、神社
工業地域	（イ）、自動車整備工場

1. （ア）大学 （イ）病院
2. （ア）中学校 （イ）診療所
3. （ア）中学校 （イ）病院

問 8

建築基準法に従い、下記<資料>の土地に建築物を建築する場合、その土地に対する建築物の建築面積の最高限度として、正しいものはどれか。なお、記載のない条件については一切考慮しないこととする。

<資料>



1. 240 m²
2. 1,080 m²
3. 1,200 m²

【第4問】下記の（問9）、（問10）について解答しなさい。

問9

馬場栄治さんが加入している終身医療保険（下記＜資料＞参照）の保障内容に関する次の記述の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、保険契約は有効に継続しているものとする。また、栄治さんはこれまでに＜資料＞の保険から保険金および給付金を一度も受け取っていないものとする。

＜資料＞

保険種類 終身医療保険（無配当）		保険証券記号番号 △△△-××××	
保険契約者	馬場 栄治 様	保険契約者印	◆契約日 2016年8月1日 ◆主契約の保険期間 終身 ◆主契約の保険料払込期間 終身
被保険者	馬場 栄治 様 契約年齢 45歳 男性		
受取人	[給付金受取人] 被保険者 様 [死亡保険金受取人] 馬場 美穂子 様 ＊保険契約者との続柄：妻		
■ ご契約内容			
	給付金・保険金の内容	給付金額・保険金額	保険期間
入院給付金	日額 10,000円 ＊病気やケガで1日以上入院をした場合、入院開始日を含めて1日目から支払います。 ＊同一事由の1回の入院給付金支払い限度は60日、通算して1,000日となります。		終身
手術給付金	給付金額 入院給付金日額×10・20・40倍 ＊所定の手術を受けた場合、手術の種類に応じて、手術給付金（入院給付金日額の10倍・20倍・40倍）を支払います。		
死亡・高度障害保険金	保険金 1,000,000円 ＊死亡または所定の高度障害状態となった場合に支払います。		
■ 保険料の内容		■ その他付加されている特約・特則等	
払込保険料合計 ×,×××円/月 払込方法（回数）：年12回 払込期月 ：毎月		保険料口座振替特約 ＊以下余白	

栄治さんは、2022年1月にくも膜下出血で救急搬送され、緊急手術（給付倍率40倍）を受け、継続して73日間入院した。さらに、2022年7月に肺炎で10日間入院した。支払われる保険金および給付金は、合計（ア）である。

1. 1,000,000円
2. 1,100,000円
3. 1,230,000円

問10

損害保険の保険種類と事故の内容について記述した下表1～3のうち、対応する保険で補償の対象とならないものはどれか。なお、記載のない事項については一切考慮しないこととする。

	保険種類	事故の内容
1	個人賠償責任保険（特約）	被保険者が仕事で自転車を使用中に、誤って歩行者と接触し、ケガをさせた場合の損害賠償責任の補償
2	住宅火災保険 [補償内容] ・ 火災、落雷、破裂、爆発 ・ 風災、ひょう災、雪災	保険の対象である自宅建物の隣家から火災が発生し、延焼により自宅建物が全焼した場合の建物の損害の補償
3	普通傷害保険	草野球チームの試合中にバットが足に直撃し、被保険者が骨折した場合のケガの補償

【第5問】下記の（問11）、（問12）について解答しなさい。

問11

佐野さんの2022年分の収入は、下記<資料>のとおりである。<資料>の空欄（ア）と（イ）にあてはまる所得の種類を組み合わせとして最も適切なものはどれか。

<資料>

所得区分	収入等の内容	備考
（ア）	剰余金の分配20万円	上場株式等の利益剰余金に係る分配である。
（イ）	受取保険金100万円	保険期間20年の一時払養老保険の満期保険金（契約者・保険料負担者は佐野さん）。一時金で受け取っている。

1. （ア）利子所得 （イ）一時所得
2. （ア）配当所得 （イ）雑所得
3. （ア）配当所得 （イ）一時所得

問12

落合さんは、個人でアパートの賃貸をしている青色申告者である。落合さんの2022年分の所得および所得控除が下記<資料>のとおりである場合、落合さんの2022年分の所得税額として、正しいものはどれか。なお、落合さんに<資料>以外の所得はなく、復興特別所得税や税額控除、源泉徴収税額、予定納税等については一切考慮しないこととする。

<資料>

[2022年分の所得]
不動産所得の金額 580万円
※必要経費や青色申告特別控除額を控除した後の金額である。
[2022年分の所得控除]
所得控除の合計額 130万円

<所得税の速算表>

課税される所得金額	税率	控除額
1,000円 から 1,949,000円 まで	5%	0円
1,950,000円 から 3,299,000円 まで	10%	97,500円
3,300,000円 から 6,949,000円 まで	20%	427,500円
6,950,000円 から 8,999,000円 まで	23%	636,000円
9,000,000円 から 17,999,000円 まで	33%	1,536,000円
18,000,000円 から 39,999,000円 まで	40%	2,796,000円
40,000,000円 以上	45%	4,796,000円

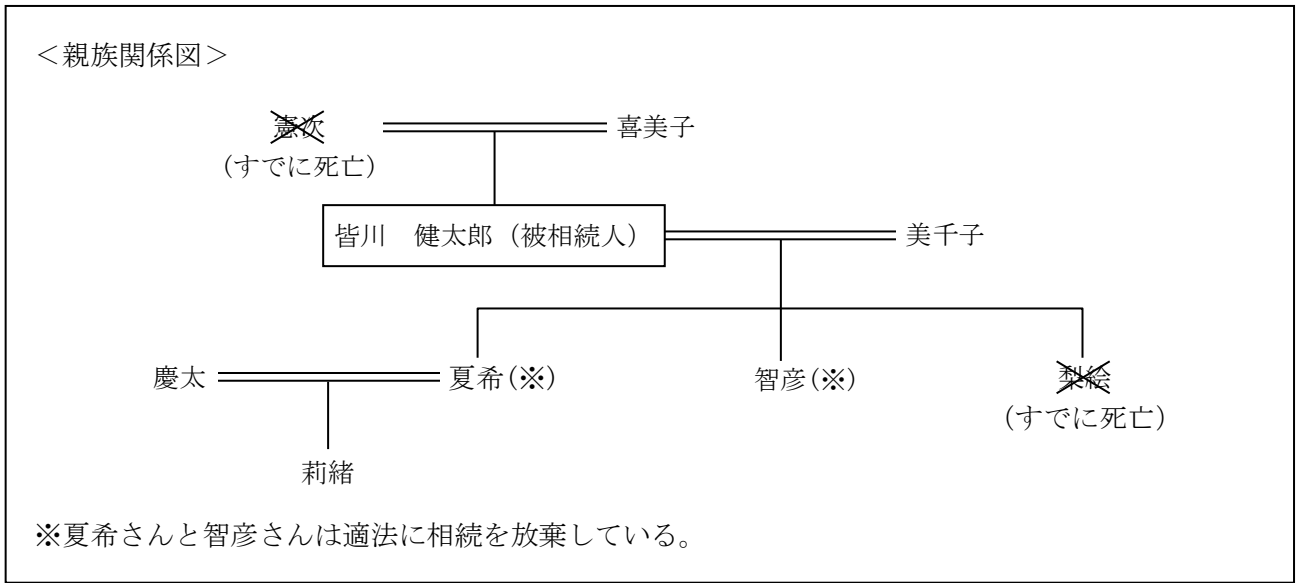
（注）課税される所得金額の1,000円未満の端数は切捨て

1. 900,000円
2. 732,500円
3. 472,500円

【第6問】下記の（問13）、（問14）について解答しなさい。

問13

2023年1月5日に相続が開始された皆川健太郎さん（被相続人）の＜親族関係図＞が下記のとおりである場合、民法上の相続人および法定相続分の組み合わせとして、正しいものはどれか。なお、記載のない条件については一切考慮しないこととする。



1. 美千子 2/3 喜美子 1/3
2. 美千子 1/2 喜美子 1/2
3. 美千子 1/2 莉緒 1/2

問14

相続開始後の各種手続きにおける下記＜資料＞の空欄（ア）、（イ）にあてはまる語句の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。なお、記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜資料＞

手続きの種類	行うべき手続きの内容
相続の放棄または限定承認	原則として、相続の開始を知った時から3ヵ月以内に（ア）に申述書を提出
相続税の申告と納付	相続の開始を知った日の翌日から（イ）以内に被相続人の死亡時の住所地の所轄税務署長に申告書を提出

1. （ア） 地方裁判所 （イ） 6ヵ月
2. （ア） 地方裁判所 （イ） 10ヵ月
3. （ア） 家庭裁判所 （イ） 10ヵ月

【第7問】下記の（問15）～（問20）について解答しなさい。

<設例>

木内智洋さんは株式会社QAに勤める会社員である。智洋さんは、今後の生活設計についてFPで税理士でもある近藤さんに相談をした。なお、下記のデータはいずれも2023年1月1日現在のものである。

[家族構成（同居家族）]

氏名	続柄	生年月日	年齢	備考
木内 智洋	本人	1968年12月24日	54歳	会社員
美奈子	妻	1972年 3月 3日	50歳	会社員
昇太	長男	2003年 8月10日	19歳	大学生

[保有財産（時価）]

（単位：万円）

金融資産	
普通預金	240
定期預金	400
投資信託	350
上場株式	210
生命保険（解約返戻金相当額）	50
不動産（自宅マンション）	3,700

[負債残高]

住宅ローン（自宅マンション）：800万円（債務者は智洋さん、団体信用生命保険付き）

[その他]

上記以外については、各設問において特に指定のない限り一切考慮しないものとする。

問15

F Pの近藤さんは、木内家のバランスシートを作成した。下表の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、＜設例＞に記載のあるデータに基づいて解答することとする。

＜木内家のバランスシート＞

（単位：万円）

[資産]	×××	[負債]	×××
		負債合計	×××
		[純資産]	（ア）
資産合計	×××	負債・純資産合計	×××

1. 1,250（万円）
2. 4,100（万円）
3. 4,150（万円）

問16

智洋さんは、60歳で定年を迎えた後、公的年金の支給が始まる65歳までの5年間の生活資金に退職一時金の一部を充てようと考えている。仮に、退職一時金のうち500万円を年利2.0%で複利運用しながら5年間で均等に取り崩すこととした場合、年間で取り崩すことができる最大金額として、正しいものはどれか。なお、下記＜資料＞の3つの係数の中から最も適切な係数を選択して計算し、円単位で解答すること。また、税金や記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜資料：係数早見表（年利2.0%）＞

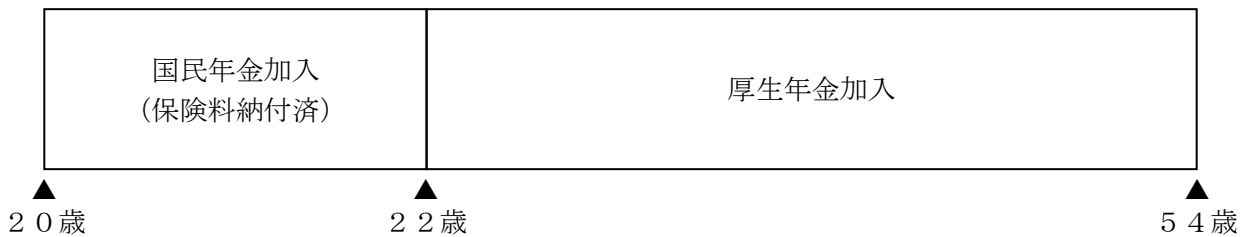
	減債基金係数	現価係数	資本回収係数
5年	0.19216	0.9057	0.21216

※記載されている数値は正しいものとする。

1. 1,060,800円
2. 960,800円
3. 905,700円

問 17

智洋さんの年金加入歴は下記のとおりである。仮に、智洋さんが現時点（54歳）で死亡した場合、智洋さんの死亡時点において妻の美奈子さんに支給される公的年金の遺族給付に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。なお、智洋さんは、入社時（22歳）から死亡時まで厚生年金保険に加入しているものとし、遺族給付における生計維持要件は満たされているものとする。また、昇太さんに障害はないものとする。



1. 中高齢寡婦加算額が加算された遺族厚生年金と死亡一時金が支給される。
2. 中高齢寡婦加算額が加算された遺族厚生年金が支給される。
3. 中高齢寡婦加算額が加算された遺族厚生年金と寡婦年金が支給される。

問 18

智洋さんは、将来親の介護が必要になり仕事を休んだ場合、雇用保険からどのような給付が受けられるのか、FPの近藤さんに質問をした。近藤さんが行った雇用保険の介護休業給付金に関する次の説明の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる数値の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。

「介護休業給付金は、雇用保険の一般被保険者または高年齢被保険者が対象家族の介護をするために休業をした場合に支給されます。支給日数1日当たりの支給額は、休業中に賃金が支払われない場合、休業開始時賃金日額の（ア）%相当額で、同一の対象家族について通算（イ）日（（ウ）回まで分割可能）を限度に支給されます。」

1. (ア) 67 (イ) 90 (ウ) 2
2. (ア) 68 (イ) 93 (ウ) 3
3. (ア) 67 (イ) 93 (ウ) 3

問 19

智洋さんは、今後高齢の親の介護が必要になった場合を考え、公的介護保険制度について、FPの近藤さんに質問をした。近藤さんが行った介護保険に関する次の説明の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる数値または語句の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。

「介護保険では、（ア）歳以上の者が加入者となり、保険料は（イ）負担します。介護保険の給付を受けるためには、（ウ）の認定を受ける必要があり、認定審査の判定結果は、『要介護1～5』『要支援1・2』『非該当』と区分されます。要介護と認定されると居宅サービス、施設サービスのどちらも利用できます。」

1. （ア）40 （イ）生涯 （ウ）市町村または特別区
2. （ア）65 （イ）80歳まで （ウ）都道府県
3. （ア）40 （イ）80歳まで （ウ）市町村または特別区

問 20

智洋さんは、下記＜資料＞の外貨定期預金キャンペーンに関心を持っている。預入条件が＜資料＞のとおりであるとき、FPの近藤さんの次の説明のうち、最も不適切なものはどれか。

＜資料＞

米ドル定期預金8%（年利・税引前・1ヵ月もの）
*円貨から預け入れた場合のみ適用
*原則、中途解約不可 中途解約利率適用

1. 「外貨預金は預金保険制度の対象外となっています。」
2. 「元金1万ドルを預けた場合、満期時には税引前・米ドルベースで800ドルの利息を受け取ることができます。」
3. 「円貨から外貨定期預金を始める際は、TTSレート（対顧客電信売相場）が適用されます。」